



九月 (小) 長月 危宿

九月七日白露の節より
月命癸酉七赤金星の月
暗剣殺西の方

旧七月大
八月大

日	曜日	干支	九星	行	事	旧曆	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	日	つちのえ	ハ白	九星	防災の日、関東大震災記念日、 富山八尾風の盆(3日迄)	旧七月大	廿九	大安	なる	虚	天おん	5.13 18.08	3.04 17.26	3.31 16.58
2日	月	つちのえ	七赤	己巳	己巳	旧八月大	廿	赤口	おさん	危	大くわ	5.14 18.07	4.05 17.53	4.09 17.17
3日	火	かえうま	六白	●朔一〇時五十六分、 大つち	旧八月大	朔	友引	ひらく	室	ぶく日	大くわ	5.15 18.06	5.04 18.17	4.42 17.35
4日	水	かえうま	五黄	二日灸、京都北野天満宮例祭、 敦賀気比神宮祭、不成就日	旧八月大	二	先負	とづ	壁	大くわ	大くわ	5.15 18.04	6.02 18.39	5.15 17.54
5日	木	みづのえ	四緑			三	佛滅	たつ	奎	大くわ	大くわ	5.16 18.03	6.58 19.01	5.47 18.12
6日	金	みづのえ	三碧			四	大安	のぞく	婁	十し	大くわ	5.17 18.01	7.54 19.23	6.20 18.31
7日	土	きのえ	二黒	白露一三時一分		五	赤口	のぞく	胃	母倉	十し	5.18 18.00	8.51 19.47	6.55 18.50
8日	日	きのえ	一白	太田吞竜開山忌		六	先勝	みづ	昂	月とく	大くわ	5.19 17.58	9.50 20.14	7.33 19.11
9日	月	ひのえ	九紫	重陽、多賀大社九月古例祭、救急の日		七	友引	たいら	畢	大くわ	大くわ	5.20 17.56	10.50 20.46	8.15 19.32
10日	火	ひのえ	八白	二百二十日		八	先負	さだん	觜	神よし	大くわ	5.21 17.54	11.52 21.24	9.08 19.56
11日	水	つちのえ	七赤	●上弦一五時〇六分、小つち、三隣亡、 東京芝大神宮しょうが市(21日迄)		九	佛滅	とる	参	きこ	大くわ	5.21 17.53	12.55 22.11	10.33 20.24
12日	木	つちのえ	六白	福岡宮崎宮放生会(18日迄)、一粒万倍日、 不成就日		十	大安	やぶる	井	大くわ	大くわ	5.22 17.51	13.05 23.07	10.33 20.24
13日	金	かえうま	五黄	世界の法の日		十一	赤口	あやぶ	鬼	百事吉	大くわ	5.22 17.50	14.49 23.07	11.52 21.24
14日	土	かえうま	四緑	岸和田だんじり祭		十二	先勝	なる	柳	十し	大くわ	5.23 17.50	15.37 23.07	12.55 22.11

残暑はまだまだ厳しいが、それでも月半ばを過ぎると朝夕涼気を感じよう。この季節、夏の疲れが表面化したり、暑さのために消化器系統が弱つていたり、とかく健康を害しやすい。健康管理に十分に留意しないと、思わぬ重病になることがある。

また立春から数えた「二百十日」や「二百二十日」があるが、これは農作(稲の開花期)と台風の関係を表している、注意を喚起するようにしたのが国独特の呼称である。

【冠】九月九日は五節句の最後、「重陽(九という数字を陽数とした陰陽術による)の節句」という。またの名を「菊の節句」と呼ぶように、この日は酒に菊花をひたして飲み、健康長寿を祝う。なわしめ、健康長寿を祝う。【婚】この月から秋の結婚シーズンが始まる。挙式に続く新婚旅行にも快適な気候である。ただ、それでな

日	曜日	干支	九星	行	事	旧曆	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	日	みづのえ	三碧	老人の日、老人週間(21日迄)、 京都石清水八幡宮祭		十三	友引	おさん	星	大くわ	大くわ	5.24 17.47	16.18 2.43	8.57 21.43
16日	月	みづのえ	二黒	●敬老の日、鎌倉鶴岡八幡宮やぶさめ		十四	先負	ひらく	張	神よし	大くわ	5.24 17.47	16.18 2.43	8.57 21.43
17日	火	きのえ	一白	十五夜、十方ぐれ入り、一粒万倍日		十五	佛滅	とづ	翼	神よし	大くわ	5.25 17.45	17.24 3.53	2.56 16.35
18日	水	きのえ	九紫	●望一三時三十分		十六	大安	たつ	軫	月とく	大くわ	5.26 17.44	17.54 3.53	3.46 17.00
19日	木	ひのえ	八白	彼岸入り、岩手水沢駒形祭、子規忌		十七	赤口	のぞく	角	母倉	大くわ	5.27 17.42	18.23 4.22	4.33 17.24
20日	金	ひのえ	七赤	空の日、動物愛護週間(26日迄)、 神奈川寒川神社例祭、不成就日		十八	先勝	みづ	亢	大くわ	大くわ	5.27 17.41	18.54 4.22	5.18 17.48
21日	土	つちのえ	六白	秋の全国交通安全運動(30日迄)、社日		十九	友引	たいら	氏	大くわ	大くわ	5.28 17.39	19.29 4.52	6.50 18.33
22日	日	つちのえ	五黄	秋分の日、秋分二二時四十分、 彼岸中日		廿	先負	さだん	房	母倉	大くわ	5.29 17.38	20.09 5.07	7.39 18.54
23日	月	かえうま	四緑	振替休日、川柳忌、三隣亡		廿一	佛滅	とる	心	月とく	大くわ	5.30 17.37	20.56 5.08	8.34 17.48
24日	火	かえうま	三碧	結核予防週間、一粒万倍日		廿二	大安	やぶる	尾	ぶく日	大くわ	5.30 17.35	21.50 5.18	9.44 19.14
25日	水	みづのえ	二黒	●下弦三時五十分、彼岸明け		廿三	赤口	あやぶ	箕	大くわ	大くわ	5.31 17.34	22.50 5.18	10.33 19.56
26日	木	みづのえ	一白	和歌山日前・国懸祭、天一天上		廿四	先勝	なる	斗	十し	大くわ	5.32 17.32	23.54 5.18	11.52 19.54
27日	金	きのえ	九紫	小田原道了尊大祭		廿五	友引	おさん	牛	めつもん	大くわ	5.33 17.31	—	12.56 20.00
28日	土	きのえ	八白	不成就日		廿六	先負	ひらく	女	●	大くわ	5.33 17.29	0.57 15.29	1.35 15.41
29日	日	ひのえ	七赤	曹洞宗両祖忌、一粒万倍日		廿七	佛滅	とづ	虚	神よし	大くわ	5.34 17.28	1.58 15.57	2.40 16.15
30日	月	ひのえ	六白			廿八	大安	たつ	危	天火	大くわ	5.35 17.26	2.58 16.22	3.22 16.15

くても心労が重なった直後だけに、ハードなスケジュールは極力避け、一生の思い出にぜひ心優しい旅行を持ちたいものである。

【葬】彼岸入りから彼岸明けまでの「秋分の日」を中心とした七日間が秋のお彼岸である。先祖に感謝し精霊の供養や墓前の香華の手付け等を行う。暑さ寒さも彼岸まで、暑さの時もまず越えたものといえよう。

【祭】九月一日は「防災の日」これは大正十二年のこの日関東一円を襲った大地震によって、未曾有(みそ)の災害が出たために、災害の怖さを銘記するよう旧暦八月十五日は「十五夜の望月」である。これを仲秋の名月というのは、七月を初秋、八月を仲秋、九月を晩秋といい、その八月の十五夜が満月だからである。

「敬老の日」九月第三月曜日(平成十五年施行)。社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日。また十五日が「老人の日」、十五日から二十一日までは老人週間(平成十四年施行)である。